

ハッピータイムだより

No.5

令和 5 年 11 月 27 日

東大阪市立北宮こども園

音楽会に運動会、たくさんの行事を経験している子どもたち。友だちと協力してやり遂げた喜びは、一人では味わえない宝物として子どもたちの心に刻まれていると思います。友だちと一緒にだと頑張れるし、楽しさも何倍にも膨らみますね。

10 月に行った運動会の経験は、子どもたちの自信につながりました。ハッピータイムの中でも「踊りたい!」とリクエストがあり、各学年の演技を楽しんでいます。自分の学年の演技は自信に溢れた表情が印象的です。運動会の取り組みを進める中で、各学年見せ合ったり、練習している様子を見学していたこともあり、他の学年の演技もバッチリです。



5 歳児 Raise a flag!!

年長児の演技をやりたい子が踊っています。フラッグはそら組の子どもたちが、遊びの時間もやりたい!と以前から新聞紙で作っていたものを貸してくれました。自分たちで作った新聞紙のフラッグ。使い終わると、きちんと巻いて片付けています。



3 歳児アロハ・エ・コモ・マイ



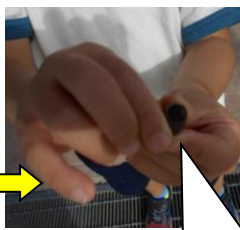
4 歳児なんじゃもんじゃにんじゃ祭り



リレーは年中・年少児にとって憧れの種目です。運動会前から学年や、年中・年少児でもリレーを行ってきましたが、運動会での年長児の姿を見て、憧れの気持ちは更に膨らみました。自分たちもやりたい!できる!と意欲をみなぎらせています。年長児は「順番どうする?」と優しく声をかけてくれたり、バトンやアンカーたすきの準備をしてくれ、その場を仕切ってくれています。

異年齢での関わりは、憧れの気持ちや思いやりの気持ちを育む上でとても大切です。一つ学年が上がった時、自分がしてもらった優しさを年下の友だちに返し、自分もカッコいいお兄ちゃんお姉ちゃんになれるよう、自覚をもって行動しようと頑張ります。

<11月の遊び>



「先生、このどんぐり
柔らかいねん。ほら、
触ってみて。」

「先生、中黒いわ。」

「ここ（どんぐり）
通るかな？」



園にあるどんぐりの木。どんぐりを拾ったあと、どうするかな？と見守っていると、段ボールで迷路を作り始めました。



フープの中に入って話し始めた年長児。
「何してるの？」
「作戦会議！」
鬼ごっこでどうやって逃げるかを話していました。

どんぐりが柔らかいことを発見した子ども。自分の発見は誰かと共有して共感してもらいたいですよね。自分の発見を認められることで、気持ちが満たされ、更に新しい発見につながり、他の人に伝えたい意欲につながります。子どもの発見は大人もビックリすることがいっぱいとその観察力に驚かされます。



集めた葉っぱや花、どんぐり。大事そうに袋に入れ、「お母さんに見せるねん」と笑顔で見せてくれます。自分が大切と**思**って集めたものは、**大好きな人に見せたい！**そんな気持ちが嬉しいですね。



「先生見ててな」
運動会で頑張った縄跳びの経験から、フープも跳べるようになりました。

<制作コーナー>



「ここ遊ぶところ。滑り台塗ってるねん」



「魚作ってるねん。ここにウロコ貼る」



作った物はすぐに持って帰りたい！それが子どもの素直な感情ですが、2学期も後半に入り「しっかり完成させてから持って帰る」というように子どもたちの気持ちにも変化が見られるようになってきました。未完成の物は棚に入れ、続きができるようにすることで焦らず丁寧に取り組んでいます。